



創業103年目で認証したISO22301の効果的活用事例について

with コロナ時代へ行動変容をうながすBCMの活用法とは

会社概要

社名	株式会社 白謙蒲鉾店
創業	大正元年4月
法人設立	昭和42年5月1日
本社所在地	宮城県石巻市立町二丁目4番29号
代表取締役会長 代表取締役社長	白出 征三 白出 哲弥
従業員数	190名（2020年8月末現在）
事業内容	魚肉練製品 製造販売業
主な拠点	工場 ①本店②門脇工場③魚町工場 店舗 ①本店②門脇売店③三越店④藤崎店⑤エスパル店 ⑥仙台駅店⑦てくて長町店⑧エスパル東館店⑨仙台空港店 ※宮城県内に25店舗

会社沿革

1912(大正元)年 4月	宮城県石巻市新田町に白出謙助 白出家(白出工務店)より分家し鮮魚店創業
1942(昭和17)年 4月	宮城県石巻市立町2丁目4番29号に移店
1967(昭和42)年 5月	株式会社白謙蒲鉾店、資本金300万円にて会社設立
1976(昭和51)年 5月	宮城県石巻市魚町に魚町工場竣工
1995(平成7)年11月	宮城県石巻門脇字明神に門脇工場完成稼働
1999(平成11)年11月	門脇工場第2工場稼働
2004(平成16)年 7月	ISO 9001 : 2000 認証取得
2006(平成18)年12月	門脇工場第3工場稼働
2011(平成23)年 3月	東日本大震災、石巻地域の全事業所が津波で被災
2014(平成26)年 2月	ISO 22301 : 2012 認証取得
2015(平成27)年 1月	日刊工業新聞社主催 弊社会長が第32回優秀経営者顕彰 震災復興支援賞受賞
2015(平成27)年 2月	中小企業研究センター主催 第48回グットカンパニー大賞 特別賞受賞
2015(平成27)年 2月	日本政策投資銀行 BCM格付 Aランク取得
2015(平成27)年 3月	事業継続推進機構主催 BC A Oアワード2014 優秀実践賞受賞
2016(平成28)年6月	ISO 9001 : 2015 移行審査登録
2016(平成28)年8月	国土強靱化貢献団体認証(レジリエンス認証) 登録 登録番号 : E 0000007
2016(平成28)年10月	日本政策投資銀行 BCM格付 Aランク取得
2018(平成30)年 2月	第58回全国推奨観光土産品審査会・観光庁長官賞受賞
2018(平成30)年11月	平成30年度「宮城の名工」に製造本部部長が練り製品製造で初表彰賜る
2020(令和2)年4月	経済産業省「事業継続力強化計画」認定
2020(令和2)年4月	みやぎ食品衛生自主管理認証制度(みやぎHACCP) ステップ2認証取得

商品紹介

※現在45品目(オーダー品除く) 製造販売

秀 笹



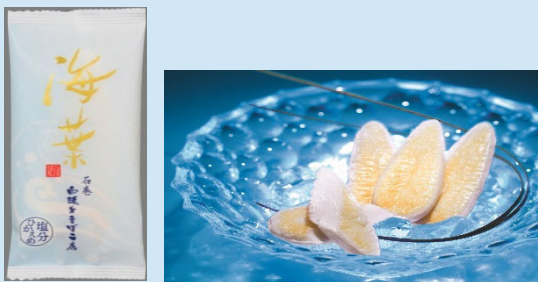
秀 揚



かすてら蒲鉾



海 葉



白謙揚げ 海葉



日の出かまぼこ



極上笹かまぼこ



白謙揚げ



手作り細工蒲鉾



東日本大震災の被災状況

- ・ 石巻地域の全事業所が津波で被災（最大約 6 mの浸水）
- ・ 就業中の従業員は全員無事
- ・ 津波襲来から 2 日目に、社員が流れ着いた釣り船で救助に駆けつけ、 3 日目に全員避難を遂げた

門脇工場津波襲来時

16時09分



16時11分



16時11分



16時13分



東日本大震災から事業の再開

- **2011年4月17日に本店地区の製造販売再開**
- 揚げ蒲鉾や蒸し蒲鉾に関して再開から数か月間は手作業による製造
- 従来の細菌検査に加え、公的機関による放射能測定も行い、科学的データで問題がないことを確認の上、製造販売再開。現在も公的機関（東京都、宮城県）による定期検査と自社での原材料段階及び製品段階にて日々検査実施
- **主力工場である門脇工場も2011年7月7日製造再開、同年12月完全復旧**
- **震災前の状況に現状復旧させることを最終目標とした**



ISO22301:2012の取り組みのきっかけ

- ・ 現地復旧による津波リスクや**不衛生な環境の残留**
- ・ 震災後、異常気象の続発
- ・ 正しい知識の欠如による過剰な不安や自信喪失の増加
- ・ 判断権者不在時や通信手段の遮断された場合「緊急対応をどこまで行うか？」
「どこで避難するか」を定めた応急対応Q & Aの必要性
- ・ (株)日本政策投資銀行より「BCM格付」のご紹介の中で、事業継続に関する
「ISO22301:2012」の情報をご提供いただき、
2013年6月より全社を挙げて人命を尊重した有事の実行性向上を図ることを目的に
ISO9001と融合したBCMSの構築を開始し、2014年2月に認定された認証を取得
(認証機関：BSIグループジャパン、認定機関：情報マネジメントシステム認定センター(ISMS-AC))

※ISO 22301 (BCMS : Business Continuity Management System) は、組織の重要な製品またはサービスに重大な影響を与えるインシデントの発生の際に、「事業を継続する」ために必要な企業活動を管理するフレームワークの国際規格です。重要な製品またはサービスに重要な影響を与えるインシデントは、地震やテロ、システム障害またはインフルエンザといった伝染病まで現在多種多様に存在しています。出典：BSIジャパンHP

ISO 22301 認証準備から現在までの歩み (1)

(1) 防災・危機管理マニュアルの策定 (2013年10月制定)

初動対応からBCP発動に伴う復旧対応までを記載

特に、津波警報以上が発令された場合は、石巻地域の事業活動を一時中断し、人命第一優先に対応をとることを重点的に盛り込み、現場とトップが備えるべき緊急事態を共有できるようにし、状況ごとの責任と権限を明確にした

※現場レベルで事象ごとの初動対応を「応急対応Q&A」にまとめ、現在、種類27項目

(2) ISO9001と融合した業務規定を経営層向け、各本部向けに制定し、さらに脅威ごとに狭義のBCPを策定 (2016年4月制定)

(3) 新型インフルエンザ等対策事業継続計画(感染症対策BCP)に関して2015年から取り組み、2016年より運用開始

※COVID-19に関する年初より感染防止や感染拡大防止に関する恒久対策を準備実行でき、最新情報を外部コンサルや審査時にも頂戴し、見直しを繰り返し行い、対策を継続中

ISO 22301 認証準備から現在までの歩み (2)

(4) 活動体制の整備

平時と有事の活動体制の明確化

【平時の活動組織】 経営企画会

会長	社長
BCM推進責任者	常務取締役
会員	本部長他、全社員が参加 対象となる

【有事の活動組織】 危機対策本部

- ・ 本店・工場に設置
- ・ 各本部長は、会長、社長
- ・ 代行権限を設定

活動メンバーの選定には、東日本大震災の活動経験・実績を反映 (旧来の組織体制・職位にこだわらず)

安全衛生委員会を効果的に活用し、安全配慮義務とリンクさせた活動にしたこと

ISO 22301 認証準備から現在までの歩み (3)

(5) 人材育成活動

- ・ 「白謙BCMSキックオフ宣言」の事前配布及び掲示
- ・ 「携帯用ポケットカード」の配布

※ 「事業継続方針」や「災害発生時からの個人の役割」を記載

- ・ 文書関連が制定や改定された都度、読み合わせ演習実施
(昨年度は78回)
- ・ 事業継続戦略からリスクアセスメントの一環としての
解決策として演習・訓練実施
(昨年度は48回)

(6) 東日本大震災の教訓やその後の防災・BCMに関する公表 (2015年以降全国で18回、工場見学時適時)

現在までの演習・訓練に関する取り組みについて



初ワークショップは「ゲリラ豪雨」から



毎年恒例の嘔吐物処理演習（2019年10月）



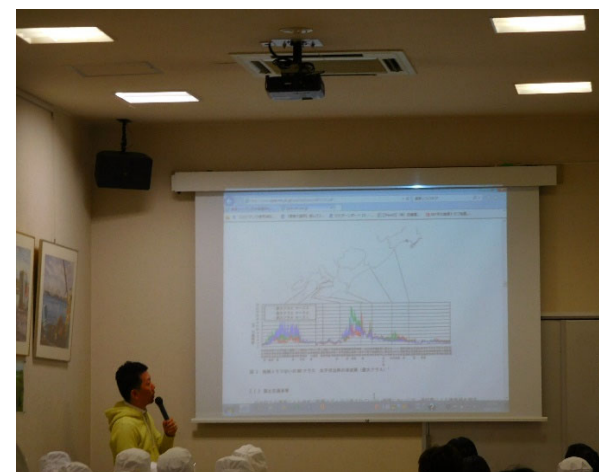
普通救命講習（2019年9月）※143名修了



上級救命講習（2019年10月）※21名修了



取引業者担当者様も交えた地震津波訓練(2018年4月)



海溝型地震による最大クラスの津波高の再確認（2018年4月）

現在までの演習・訓練に関する取り組みについて



経営陣も参加する食品事故対応演習（2018年1月）



サイバー攻撃の手口と対応訓練（2019年9月）



初期消火・防災・防犯訓練（2019年10月）



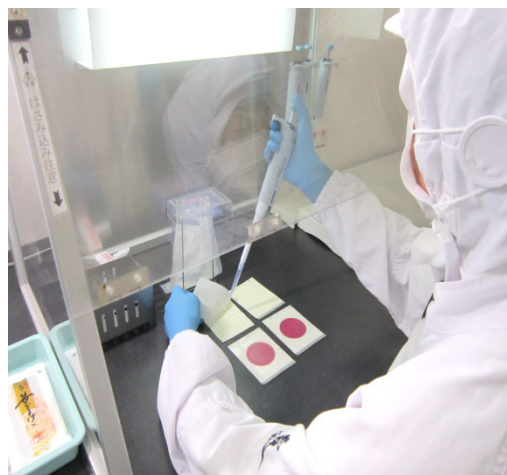
出入り業者様向けCOVID-19関連研修（2020年7月）



全社員対象COVID-19最新情報伝達研修会（2020年9月）

現在までの品質管理に関する取り組みについて

細菌検査



+

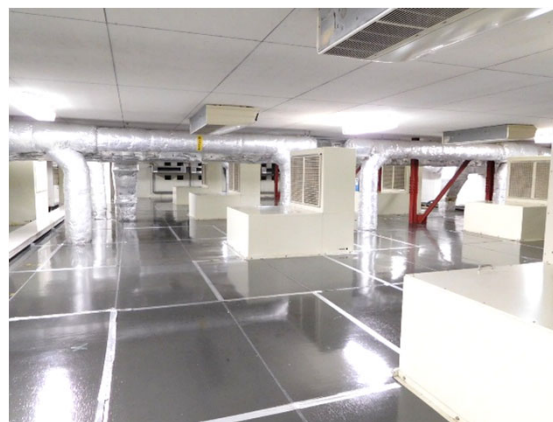
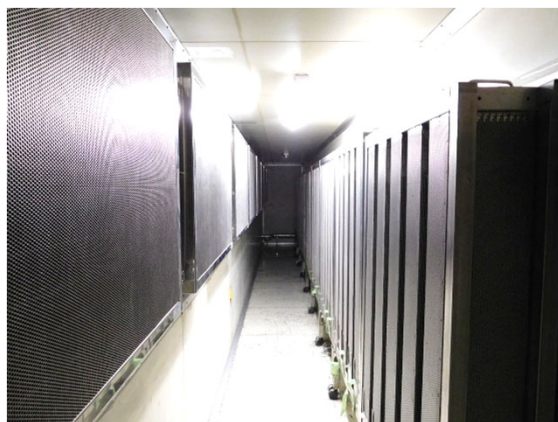
放射能検査

※現在も外部検査機関による東京都・宮城県での検査と自社での原材料・製品段階の検査実施



現在までの品質管理に関する取り組みについて

門脇工場・・・空調設備



- ◆ 工場内の空気は1時間に96回換気の実施※平成7年より導入
- ◆ 陽圧管理も施されており工場内の清浄度は工程に応じてクラス100～10,000を保持
- ◆ 6層のフィルターユニット
 - 活性炭フィルター・・・
外気の消臭目的
※震災直後導入
 - HEPAフィルター・・・
0.3 μ m以上の粒子の99.97%を捕集

現在までの省人化に関する取り組みについて

門脇工場・・・ロボット設備



- ◆作業工程の省人化
- ◆7ラインロボット導入
- ※2013年より導入

ISO9001 : 2015とISO22301 : 2012の統合マネジメントについて



取り組みの効果について

🌀 迫りくる脅威を選定し、狭義のBCP策定とレビューを繰り返し、求められる行動変容を演習や訓練等で促すことで、毎年の審査では一方的ではない、改善するための話し合いが行われ、お客様の立場で対策が推進されていること

※感染症BCP、サイバー攻撃対応、食品事故対応、水災タイムライン等

🌀 「DBJ BCM格付」取得による効果

様々な機会を頂戴し、広報にも力を入れていただいたおかげで、信憑性が増し、採用活動に効果がみられること

BCMに取り組む企業様と新たな交流の機会や最新情報も頂戴し、これまでの対策内容の妥当性確認をすることができ、
即、新たな対策実施や現場へのフィードバックをすることができ、有事の実効性向上に繋がっていること

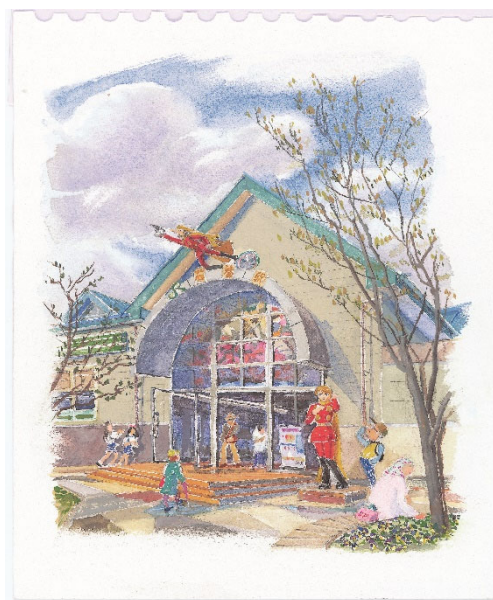
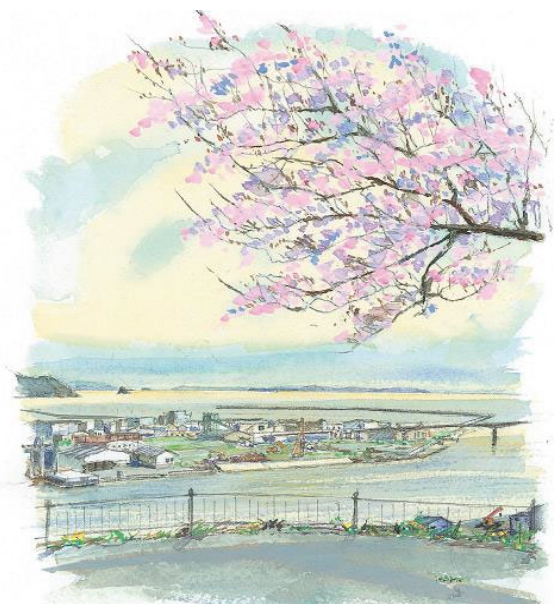
🌀 安全配慮に関する認識の強化

事業継続を前提とした事前周知及び対策がルーティーンとなり、初動対応については役員不在時を想定させ、人命を第一に考え、目的未達であっても従業員の責任を問わないことを伝達認識させ、危険が切迫した際の中断、退避、撤退等の判断権限を従業員に付与したことで各家庭の備えの強化と安心感につながり、口コミをしてくれるようになったこと

🌀 自衛消防から対策本部運営の複数手順を一つのキットに集約することができたこと

WITHコロナの新たな対策内容も含めてSOMPORリスクマネジメント株式会社様の「HONBUくん」の導入支援により実現できたこと

ご清聴いただき、誠にありがとうございました
これまでの復興のご支援を賜りました皆様に
心から厚く感謝と御礼を申し上げます



石巻 しらけん 白謙が寺ぼ二店

